

## 令和6年度予算編成方針

令和5年10月26日

山口市総合政策部

## 「ずっと安心 元気山口」予算

令和6年度は、第二次山口市総合計画後期基本計画の2年目の年度となります。

現在、本市では、コロナ禍からの社会経済活動の回復に向けた取組や、物価高騰対策などの市民生活の安定化を図る取組を進めている中で、本年6月から7月にかけての大雨災害による大きな被害を受け、その復旧に向けた全力の取組を進めています。

また、我が国全体で進む少子化が人口減少を加速化させている中、こうした流れに歯止めをかけるため、国においては、こども・子育て政策の抜本的な強化を図ることとされており、本市においても、こうした国の動きに呼応しつつ、人口長期ビジョンの達成に向けた全力の取組を進める必要があります。

こうした中で、令和6年度は、今の市民生活の安全・安心を確保しつつ、人口減少対策を図り、本市の将来にわたる活力を維持していくための取組を引き続き積極的に進め、今も、未来も安心して暮らせる元気な山口市の実現に向けたまちづくりを進めます。

まず、物価高騰の状況を引き続き注視しつつ、市民生活の安定化に必要な対応を図り、同時に、激甚化・頻発化する災害から生命と財産を守る防災・減災の取組を加速化させます。

その上で、子育て世代から更に選ばれるまちに向けた環境づくりを始め、教育、医療・介護、交通、産業振興、環境などのあらゆる分野において、安心して元気に暮らせるまちづくりを進めていきます。

また、農山村と都市が共存共栄するまちづくりとして、人口減少が進む農山村エリアにおける移住・定住促進や、地域交流センターを中心とした元気な地域づくりの取組を進めつつ、都市核づくりを始めとした新市発足以降の一連の都市基盤整備を着実に進め、高次の都市機能の集積・強化を図ることで、将来にわたって活力あふれる県都山口のまちづくりを進めます。併せて、コロナ禍で落ち込んだ交流人口が回復局面にある中で、こうした流れを本市の活力につなげていくための積極的な取組を進めます。

こうした考え方のもとでのまちづくりを、デジタル化や地域脱炭素などの時代の流れを踏まえた事業展開により進めつつ、地域や企業、個人などの未来へのチャレンジを、大学等の高等教育機関を始めとした多くの関係者と行政との連携のもとで支え、地域課題の解決や地域経済の活性化につなげていきます。

そこで、令和6年度予算を、「ずっと安心 元気山口」予算と位置づけ、将来に備えて積み立ててきた特定目的基金の計画的な活用や、政策的な経費等の確保を図りながら、後期基本計画における6つの重点プロジェクトの取組や、本市の地方創生に向けた山口市デジタル田園都市国家構想総合戦略の取組の着実な推進を目指した予算編成を進めます。併せて、国の補正予算や地方財政対策、県の「やまぐち未来維新プラン」の方向性などを踏まえた予算編成を進め、「ずっと元気な山口」の実現に向けたまちづくりを進めます。

## 【6つの重点プロジェクトにおける取組検討の方向性】

### 1 子ども・子育て全力応援のまちづくり

子育て世代から更に選ばれるまちづくりに向けて、子ども・子育てに関する相談支援体制の強化や、保育環境の充実を図りつつ、子育て家庭の負担軽減に向けた取組の検討を進めます。また、本市の地域資源を生かした特色ある教育プログラムの展開など、子どもたちの生きる力を育む教育環境の充実に向けた検討を進めます。

### 2 若者活躍と雇用創出の環境づくり

大都市圏への若者の転出超過の抑制に向けて、雇用の受け皿となるあらゆる産業分野の経営基盤の強化や担い手確保・育成の取組、企業誘致の推進に向けた検討を進めつつ、若者定住につながる雇用・就業促進の取組の充実・強化に向けた検討を進めます。

### 3 人生100年時代の元気活躍のまちづくり

あらゆる世代が生涯にわたって元気で健康に暮らせるまちづくりとして、地域における包括的支援体制の構築や地域医療提供体制の確保に向けた検討を進めます。また、あらゆる世代の市民が学び、活躍できる環境づくりに向けた検討を進めます。

### 4 21地域づくりと農山村活性化

「個性と安心の21地域づくり」の取組として、協働によるまちづくりのもと、地域交流センターを中心とした日常生活圏の維持・確保に向けた検討を進めます。また、農山村エリアにおける定住促進に向けて、農林水産業の振興や居住誘導の取組検討を進めます。

### 5 元気な県都づくり

「広域県央連携中核都市づくり」の取組として、山口・小郡の両都市核づくりの着実な推進のための検討を進めます。また、観光地域づくりを通じて、市民の利便性向上と交流人口の創出につながる取組の検討を進めます。さらに、広域ネットワークの強化に向けて、JR山口線の維持・確保につながる利用促進策などの検討を進めます。

### 6 持続可能な未来都市づくり

HX、DX、GXなどを通じて持続可能なまちづくりを支えるため、学都山口の特性を生かした学びのまちづくりによる人材育成の取組の検討を進めつつ、あらゆる施策分野において、デジタル化や地域脱炭素などの時代の流れへの対応を加速化します。また、関係者との連携のもと、県農業試験場等跡地や県立大学南キャンパス跡地、山口きらら博記念公園などの公有地・公共施設等の活用に向けた検討を進めるとともに、老朽化が進む未利用の公共施設等の計画的な除却等の検討を進めます。

## 【予算要求基準 総括事項】

- ・年間通年予算として編成することから、年間を通じて予定される全ての収入・支出を的確に把握して計上すること。
- ・6つの重点プロジェクトの推進を十分に意識し、その目標達成に向けて部局横断的に予算の編成を行うと同時に、施策別包括的予算制度として各施策に配分する一般財源の範囲内で予算要求を行うこと。
- ・多様化する行政ニーズに対応したビルド&スクラップ（新規事業を行う場合、既存事業を廃止）を積極的に行い、限りある財源を最も有効に活用した予算要求を行うこと。

【予算編成方針のイメージ図】

第二次山口市総合計画 将来都市像

豊かな暮らし 交流と創造のまち 山口 ~これが私のふるさとだ~

## 「ずっと安心 元気山口」 予算

### 今も未来も 安心して暮らせる元気な山口市の実現

将来にわたる活力の維持に向けた積極的な取組

- ・子育て世代から更に選ばれるまちづくり
- ・農山村と都市が共存共栄するまちづくり

今の市民生活の安全・安心の確保

- ・物価高騰の影響への対応
- ・防災・減災対策の加速化

### 6つの重点プロジェクト

子ども・子育て全力応援のまちづくり

若者活躍と雇用創出の環境づくり

人生100年時代の元気活躍のまちづくり

21地域づくりと農山村活性化

元気な県都づくり

持続可能な未来都市づくり

H X (人材育成) D X (デジタル化) G X (地域脱炭素)

## 【収支試算（一般会計）】

(一般財源ベース:億円)

		令和 6 年度	令和 5 年度 (当初予算)	比 較
歳 入		581	577	4
市	税	279	277	2
地 方 交 付 税		175	169	6
臨 時 財 政 対 策 債		3	5	△2
基 金 繰 入 金		46	49	△3
	うち財政調整基金	0	18	△18
	うち特定目的基金	46	31	15
そ の 他		78	77	1
歳 出		623	577	46
枠 対 象	義 務 的 経 費	389	375	14
	人 件 費	138	132	6
	公 債 費	103	99	4
	そ の 他	148	144	4
経 費	政 策 的 経 費	171	164	7
	維 持 ・ 固 定 経 費	130	127	3
	一 般 経 費	41	37	4
枠 対 象 外	プ ロ ジ ェ ク ト 経 費	48	29	19
	一 時 的 ・ 期 限 付 経 費	15	9	6
財源不足額(※)		△42	0	△42

※令和 6 年度当初予算については、今後予算編成を進める中で、国等の補助制度の活用を図るとともに、更なる事業の精査を行うなど、歳入・歳出の両面から財源不足の解消に向けた取組を行うこととしています。

## 【スケジュール】

